



3月の園だより

学校法人志賀学園
松の実こども園

令和3年2月26日

今年は暖冬で温かい日が続いたせい、桃のつぼみも大きく膨らみ、春の訪れが一段と加速されているような感じがします。

明日は、こども園生活での1年間の締めくくりの行事、わくわくキッズコンサートです。ばら組さんは、11月に鍵盤ハーモニカが届くと嬉しそうにケースから取り出して音を出してみたり、お家に持って帰ったりして興味を示していました。また、打楽器のきれいな音色に関心を持って、いろいろな楽器を鳴らしたりしていましたので、初めてのコンサートでは、元気に発表してくれることと思います。すみれ組さんは、ばら組さんでの経験を生かして、少し長めの3拍子の曲に挑戦したり、鍵盤ハーモニカで全員きらきら星が弾けるようになりました。さくら組さんは、英語の歌を先生に教わった通りに発音して丁寧にうたうことができるようになりました。合奏では、難しい「ラデツキー行進曲」に取り組み、お友だちと心と音を一つにすることを目標に、それぞれのパートの練習に取り組んでいました。当日は保護者の皆様を前に張り切って演奏してくれることと思いますので、楽しみにしててください。

ちゅうりっぷ・たんぼぼ・ももぐみさんも、毎日の生活の中で季節の歌をうたったり、曲に合わせて打楽器や先生の手作り楽器を奏でたりして、音楽に親しんできました。引き続き、音楽を通して豊かな感性を育てて参りたいと思います。

3月3日はひな祭りです。女の子の成長と幸せを願いお祝いする行事です。「桃の節句」ともいわれ、雛人形の桃の花を飾ってお祝します。昔から「桃は邪気（病気などを起こすと考えられる悪い気）を払う力がある」と考えられていました。また、その季節の食べ物や飲み物を神様に捧げ、共に飲んだり食べたりすることで、「災いを払う」という儀式をしていました。さくら組では桜餅作りをします。ひな祭りのお話をして、さくらの葉の香りを嗅ぎながら春の訪れを感じ、美味しく頂きたいと思います。

さて、今年度はコロナ禍の中ではありましたが、出来る限りの対策を取りながら、これまでの大きな園行事を行うことができました。子どもたちはこの一年間、友だちとの関りや行事を通し、たくさんのことを経験し大きく成長して参りました。まもなく、卒園・進級の時を迎えますが、残り少ない日々を大切にしながら、一年の締めくくりをし、進級や進学への自信と期待を膨らませていきたいと思っています。

保護者の皆様には感染症対策をとりながら、こども園に対しましてご理解ご協力をいただきましたこと、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。